



孤児院の外で、自転車に乗って遊ぶ子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さんの御支援、いつもありがとうございます。

この原稿を執筆しております5月の末に、私共孤児院の総会が行なわれます。総会の中では、スタッフにより一年間の活動報告が行なわれますが、報告に耳を傾ける中で、一年の間に様々な働きがなされ、また働きが進んだことを幾度となく思い起こされます。そしてその活動の背後には、変わらぬ皆さんからの心温まる御支援あればこそと再確認させられ、本当に感謝の思いを持つばかりであります。また、6月3日から、福島県郡山市でのファミリーホーム建設も始まる予定であり、本当に感謝の思いであります。しかし、私共の海外の孤児院を取り巻く環境は年々厳しくなるばかりであります。例えば、カンボジアでは物価の上昇が激しく、円安と相まって、もはや経費節減だけでは対応出来ない状況であります。少しでも多くの経費を送ってあげたいところですが、今の状況で難しいのが正直なところです。カンボジアにかぎらず、ザンビアやフィリピンでも同様です。最後はいつも皆さんにお願いするばかりですが、どうかこれからも、皆さんの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

古い壊れた自転車を引っ張り出して、修理して子どもたちの練習用にしました。カンボジアでは、オートバイは庶民の足ですから、ゆくゆくはオートバイの練習も必要になるかと思いますが、まずは自転車に全員が乗れるようにと思って始めました。時間があつた4月のお正月休みに、毎日のように交代で乗って練習したところ、ほとんどの子どもたちが1人で乗れるようになって、上達の早さにび



果物を食べている子どもたち！

っくりしています。また、12年生（高校3年）の4人は、1人ずつ自転車があれば、午後から補習授業がある時など大変助かりますので、その必要の為に ご支援を頂ければ幸いです。相変わらずの円安の傾向は、毎月の運営費に大きく影響し続けています。運営の為に必要が満たされ続けますように、皆様のご支援に心から感謝すると共に、これからも継続したご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。

2015年～2016年の学期には、43名の子どもたちが就学支援を受ける予定です。子どもたちのために、学校登録費、カバン・制服などの学用品と教科書代が必要です。学校の登録は4月13日に始まり、5月30まで行われます。通常の授業は6月1日にはじまります。学用品を買い揃えるために515ドルと一年間の学費として3,672ドルが必要です。昨年度8名が高校を卒業し、その内2名は成績優秀のゆえに大学進学奨学金を受けることが出来ました。他の6名も大学へ進学して



子どもたちの卒業式の様子！

さらに勉強を続けたいと望んでいます。大学進学のためには、大学また学部によってこととなりますが、一年間の登録費、学費、その他学用品などのために942.89ドル～1,054.21ドル必要です。皆様の経済的なご支援は、子どもたちの人生に素晴らしい影響を与えています。皆様の暖かい愛に満ちたご支援に心から感謝致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)？

皆様の、日頃の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

カセंगा孤児院組が、一ヶ月のホリデー中、ルサカで共に過ごすことができました。こちらが言い出す前に、自発的に料理、掃除を手伝ってくれるようになっていました。そんな姿、成長を見ると、本当に喜びを覚えます。ただ、経済に余裕がなく、ほとんど外出させてあげることができなかった事が残念です。



また、車両の故障が続いていて、負担が重くなっています。ザンビアでは、日本のように、本当に車の構造を理解している整備士がおらず、修理すれば修理するほど、他の部分も故障していく悪循環があります。

また、二カ所の孤児院の運営を、車一台で荷なっている状況も改善したく、中古の四駆車の購入を希望しています。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

手前からカレブとステীবン！

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。以前アラサトゥーバで知り合ったカチアさんとご主人のヴァウテルさんと一緒に、グアララペスの児童養護施設の土地を見に行ってきました。ご主人は建築技師で、近隣都市で池の整備にあたっている会社で働いておられます。



児童養護施設の敷地にも池があり、整備について、専門家の見地からいろいろなアドバイスをくださいました。奥様は牛の競売に関わるお仕事をされていて、田舎の土地柄にも詳しいご様子でした。これから、児童養護施設の設立にあたって、いろいろな必要がありますが、お二人にも協力をお願いしました。さらに多くの協力者が必要ですが、これからもご支援をよろしく願いいたします。

池の整備について説明される
ヴァウテルさんとカチアさん。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>